

□ 熱中症に関する生徒の実態調査

- ・目的：高校生の熱中症に対する意識及び実態を把握することで今後の熱中症予防対策の推進を図る
- ・調査期間：10月30日（月）～11月7日（火）→11月8日～15日集計・資料作成
- ・調査方法：Google Forms
- ・対象：県立高等学校の全日制課程と定時制課程に在籍する1年生と2年生

<質問事項>

Q1 あなたの学校名を選んでください。

Q2 あなたの学年を選んでください。

Q3 あなたは、今年度これまでに学校（登下校を含む）で熱中症（めまい・立ちくらみ・頭痛・嘔吐・意識障害など）にかかったことがありますか。

① ある（⇒Q4へ）

② ない（⇒Q11へ）

Q4 Q3で①あると答えた方に質問です。

どのような症状が見られましたか。

① I度（めまい、立ちくらみ、筋肉の硬直（こむら返り）など）

② II度（頭痛、嘔吐、倦怠感、虚脱感など）

③ III度（意識障害、痙攣発作など）

Q5 熱中症にかかった場所はどこですか。（複数回答可）

① 教室（⇒Q6へ）

② 体育館（⇒Q7へ）

③ グラウンド（⇒Q8へ）

④ その他（学校外を含む）（⇒Q9へ）

Q6 Q5で①教室と答えた方に質問です。

どのような状況で発生しましたか。（複数回答可）

① 授業中（休憩時間を含む）

② 部活動中

③ 学校行事

④ その他

Q7 Q5で②体育館と答えた方に質問です。

どのような状況で発生しましたか。（複数回答可）

① 授業中（休憩時間を含む）

② 部活動中

③ 学校行事

④ その他

Q8 Q5で③グラウンドと答えた方に質問です。

どのような状況で発生しましたか。(複数回答可)

- ① 授業中(休憩時間を含む)
- ② 部活動中
- ③ 学校行事
- ④ その他

Q9 Q5で④その他(学校外を含む)と答えた方に質問です。

どのような状況で発生しましたか。(複数回答可)

- ① 授業中(休憩時間を含む)
- ② 部活動中
- ③ 学校行事
- ④ 通学・帰宅途中
- ⑤ その他

Q10 熱中症にかかった時やその後の対応(複数回答可)

- ① 特に何もしなかった
- ② 保健室に行くなど、適切な処置を受けた
- ③ 医療機関を受診した
- ④ 救急車で搬送され、医療機関で受診した

Q11 あなたが熱中症を予防するために特に心掛けていることは何ですか。

(3つまで回答可)

- ① 環境条件の把握(暑さ指数(WBGT)の把握など)
- ② 運動量の把握
- ③ 状況に応じた水分・塩分補給
- ④ 暑熱順化(暑さに対して徐々に体を慣らすこと)
- ⑤ 個人の条件を考慮(睡眠不足、発熱など体調の悪いときに無理に運動をしない)
- ⑥ 服装の調節
- ⑦ 具合が悪くなったときの運動の中止
- ⑧ 特になし

Q12 あなたは暑さで具合が悪くなったときに先生に気兼ねなく体調不良を伝えることができますか。

- ① できる
- ② できない

調査は以上です。御協力ありがとうございました。